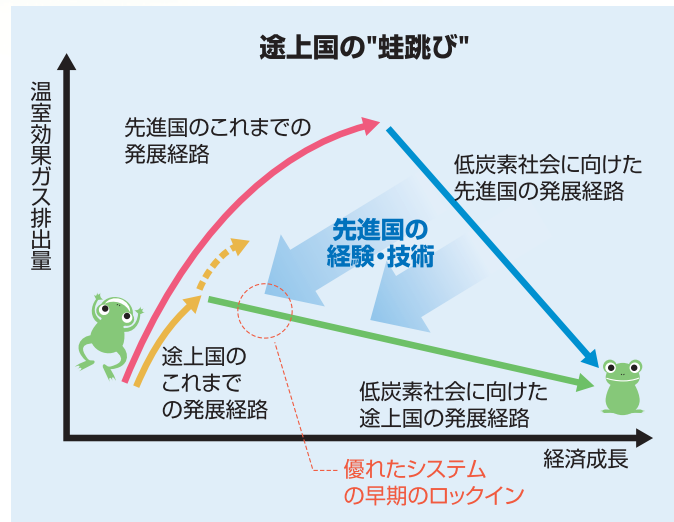


4 国、地方公共団体、国民の新たな役割と参画・協働の推進

環境を守るためには、一人一人の国民をはじめ、企業や団体と地方公共団体、そして国が協力しながら、それぞれの役割を果たしていく必要があります。そのためにも、お互いによく情報交換しながら、一緒になってどうやって環境を守るかを考えていく必要があります。

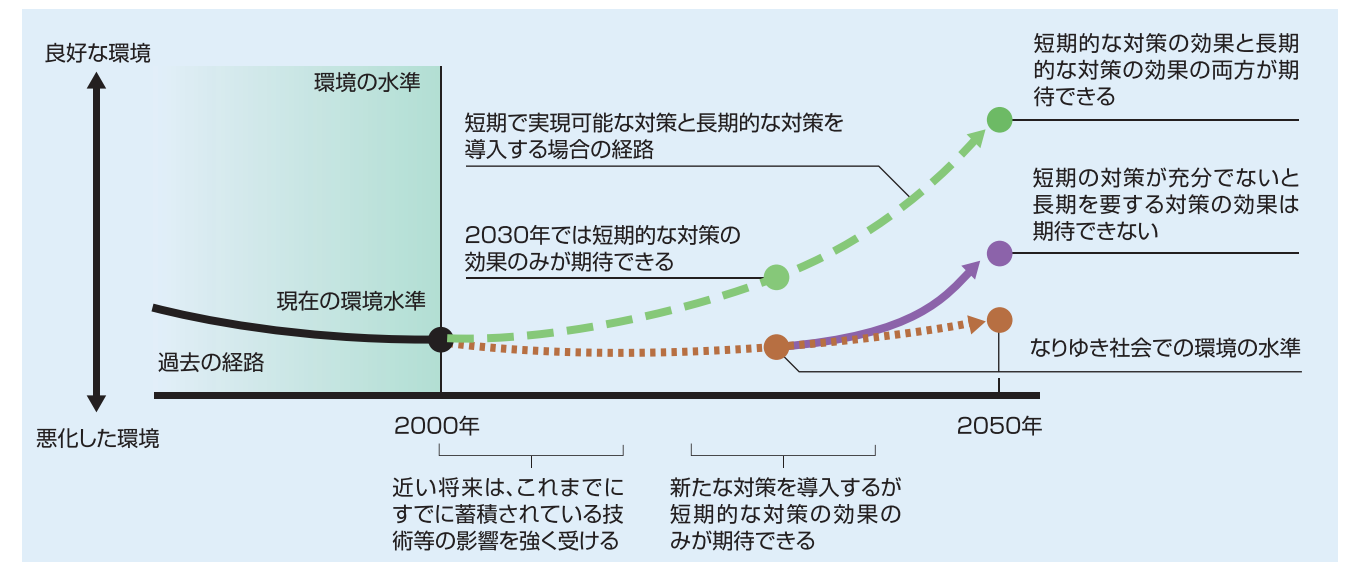
5 国際的な戦略を持った取組の強化

世界中の人々が協力しなければ解決できない環境問題がたくさんあります。そのような問題を解決するための取組やルールづくりに積極的にかかわっていく必要があります。また、日本のこれまでの経験をこれから発展しようとしている国々で役立ててもらいましょう。



6 長期的な視野からの政策形成

地球温暖化問題などに見られるように、今のわたしたちの暮らしが、将来の人々に大きな影響を与えるかもしれません。例えば50年後といった長期的な視点に立って、今からわたしたちの社会の将来像を思い描き、そうしていくためにどうすればよいかを考えていく必要があります。



明解! よくわかる環境用語



温室効果ガスとは

地表から赤外線形で宇宙に逃げていくエネルギーを吸収して大気を暖め、地球の平均気温を上げる働きを持つ大気中ガスのこと。二酸化炭素(CO₂)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン(HFC)等があります。温室効果ガスの働きによって地球の平均気温は約14℃に保たれていますが、ガスがないと-18℃になってしまいます。しかし、近年では人間の活動によって温室効果ガスが大量に大気中に放出されて、地球温暖化を急速に進めている原因になっています。

チームマイナス6%とは

ホームページ <http://www.team-6.jp/>

深刻な地球温暖化問題の解決のために世界が協力して作った京都議定書のなかで、日本が世界に約束した目標は2008年から2012年の間に温室効果ガスの排出量を1990年に比べて6%削減すること。これを実現するため、2005年4月にチームリーダーを総理大臣、サブリーダーを環境大臣として発足した地球温暖化防止のための大規模国民運動が「チームマイナス6%」。これまでに「COOL BIZ」や「WARM BIZ」、「うちエコ」など、一人一人の日常生活での温暖化防止活動を呼びかけています。

バイオマスエネルギーとは

木材や生ゴミ、動物の糞などのバイオマス資源からつくられたエネルギーのこと。燃やすと二酸化炭素(CO₂)を出しますが、植物などの成長の過程で排出した二酸化炭素を吸収するため、大気中の二酸化炭素が増加しないとみなすことができるエネルギーです。ふだんの生活でもっと使えるように今後の技術開発が期待されています。

ヒートアイランド現象とは

都市部の気温は、アスファルト舗装、ビルの輻射熱、ビルの冷房の排気熱、車の排気熱などによって、周辺地域よりも数度高くなります。等温線を描くと都会の中心部がぼっかりと浮かんで島のように見えることからヒートアイランド現象と呼ばれます。これを解決するには省エネを進めたり、緑地を増やすことなどが重要です。

フード・マイレージとは

食べ物が運ばれてくる距離のことで、フード・マイレージが大きいほど環境に負荷を与えていることになります。外国産の食材を食べるよりも地元で取れた野菜や国産の食材を食べることで、輸送に伴って発生する二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出量の減少につなげることができます。